

中学歴史プリント（書き取り）

昭和時代（戦前）

名前

得点

/20

- 問1 1939年のドイツによるポーランド侵攻をきっかけに始まった、世界規模の戦争を何という？
- 問2 1937年に始まり、当時の日本の軍事行動を長期化させることとなった中国との大規模な武力衝突を何という？
- 問3 日中戦争の長期化に伴い、日本に対して欧米諸国が行った経済封鎖などの包囲網を何という？
- 問4 国家総動員法のもとで、軍事優先のために経済活動や物資を政府が管理・抑制することを何という？
- 問5 第二次世界大戦中、激化する空襲から子供たちの安全を守るために実施された、小学生などが集団で都市部から避難する政策を何といいますか？
- 問6 1937年、北京郊外の橋で発生し、日中戦争の引き金となった事件を何という？
- 問7 第一次世界大戦後のイタリアでファシスト党を率いて独裁政治を行った指導者は誰？
- 問8 1941年に日本がアメリカやイギリスなどと戦い、日本が敗戦を迎えるまで続いた戦争を何という？
- 問9 第二次世界大戦において、日本、ドイツ、イタリアの3国を中心に結ばれ、連合国と敵対した陣営を何という？
- 問10 金融恐慌をきっかけに、日本で資本や預金が集めた少数の巨大銀行を何という？
- 問11 1940年、日本とドイツとイタリアの間で結ばれた軍事同盟を何という？
- 問12 ニューディール政策を掲げて、世界恐慌からの脱却を図った国はどこ？
- 問13 五・一五事件でクーデターを主導した軍の組織はどこ？
- 問14 1929年に始まった経済危機において、資本主義諸国が深刻な不況に陥る中、計画経済を実施していたことで影響をほとんど受けなかった出来事を何という？
- 問15 1931年に発生し、日本の国際的な孤立が深まるきっかけとなった事件を何という？
- 問16 1930年、主力艦に続いて補助艦の保有量まで制限することを決めた条約を何という？
- 問17 第一次世界大戦後に多くの国が軍縮を目指す中で、ナチス・ドイツなどが競って行った、軍隊や兵器を増強する政策を何という？
- 問18 1940年に日本と三国同盟を結び、後に枢軸国としてともに戦ったヨーロッパの国はどこ？
- 問19 第一次世界大戦後、アメリカの提唱で開かれた、海軍主力艦の保有制限を話し合った会議を何という？
- 問20 世界恐慌への対策として、自国と植民地の間で貿易を優遇した排他的な経済政策を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 第二次世界大戦	枢軸国（ドイツ・イタリア・日本など）と連合国（イギリス・フランス・ソ連・アメリカ・中国など）が世界各地で戦いました。兵士だけでなく、多くの民間人が犠牲となる「総力戦」となりました。
問2	答え 日中戦争	1937年、北京郊外の盧溝橋で起きた発砲事件をきっかけに、日本軍と中国軍との武力衝突が全面化しました。日本政府は当初「北支事変」と呼びましたが、戦闘は中国大陆の広範囲に及び、長期的な戦争状態となりました。
問3	答え ABCD包囲網	アメリカ(A)、イギリス(B)、中国(C)、オランダ(D)の頭文字をとって呼ばれます。彼らは日本への石油輸出を停止し、資産を凍結するなどの厳しい経済制裁を実施しました。
問4	答え 統制経済	統制経済とは、市場での自由な売買を制限し、政府が優先度の高い軍需品の生産を強制的に進める仕組みです。このもとで、米や燃料などの生活必需品は切符制による配給となり、国民の生活は厳しく制限されました。また、工場や労働力も軍事生産のために管理・動員されることとなりました。
問5	答え 学童疎開	1944年、政府は小学校低学年以上の児童を対象に「学童疎開」を義務付けました。家族と離れ、農村部や温泉地などの安全な場所で集団生活を送りながら現地の学校へ通うという過酷な措置でしたが、子供たちの命を守るための最後の手段でした。
問6	答え 盧溝橋事件	1937年7月7日、北京郊外の盧溝橋付近で、演習中だった日本軍の銃声が響き、中国軍との間で小規模な戦闘が勃発しました。この事件をきっかけに、日本政府は現地の軍隊を増派し、紛争は局地的な衝突から日中戦争という本格的な軍事衝突へと拡大していきました。
問7	答え ムッソリーニ	ムッソリーニは、民主主義を否定し、強い国家を求めるファシズムを掲げて政権を奪取しました。独裁体制を築き、軍事力を強化して対外的な領土拡大政策を進めました。
問8	答え 太平洋戦争	1941年12月、日本軍はハワイの真珠湾を奇襲攻撃し、太平洋戦争が始まりました。日本は東南アジアの資源地域を占領しましたが、圧倒的な工業力を持つアメリカを中心とする連合国軍の反撃に苦戦しました。
問9	答え 枢軸国	「枢軸国」は、三国同盟などを通じて協力体制を築き、ヨーロッパでのドイツ・イタリアの軍事行動と、アジアでの日本の軍事行動が結びつく形で戦争が拡大しました。対するアメリカ、イギリス、中国などは連合国として協力しました。
問10	答え 五大銀行	信用を失った多くの中小銀行が倒産する一方で、経営基盤の強固な大銀行には、国民の預金や資本が集中しました。このとき、三菱・三井・住友・安田・第一の五つの銀行が中心となり、日本の金融界を支配するようになりました。
問11	答え 日独伊三国同盟	1940年9月に締結されたこの同盟は、締結国のいずれかがアメリカによって攻撃された場合に、相互に援助し合うことを約束した軍事同盟です。これにより、日独伊の枢軸国側は国際的な連携を深めました。
問12	答え アメリカ	ルーズベルト大統領が就任し、それまでの「自由放任主義」を改め、政府が経済に積極的に介入する政策を取りました。これがニューディール政策です。アメリカは景気回復と国民の生活防衛を最優先し、銀行管理や農業調整などを通じて構造的な改革を進めました。
問13	答え 海軍	1932年の五・一五事件では、海軍の若手将校たちが中心となり、政党政治の打破を訴えて首相官邸を襲撃しました。一方、数年後の1936年に起きた二・二六事件では、今度は陸軍の将校たちが主導権を握り、中心的な役割を果たしました。
問14	答え 世界恐慌	この影響で国際貿易が滞り、各国で失業者が急増しました。しかし、当時は社会主義国であったソ連は資本主義経済の枠組みから離れていたため、計画経済によって影響をほとんど受けませんでした。
問15	答え 満州事変	1931年9月、満州（中国東北地方）の南満州鉄道が爆破されたことをきっかけに、日本の関東軍が中国軍を攻撃し、武力で満州全域を占領した事件です。この軍の独断的な行動は、政府のコントロールを離れたものでした。
問16	答え ロンドン海軍軍縮条約	1930年にロンドンで調印されたこの条約は、主力艦だけでなく潜水艦や巡洋艦などの「補助艦」まで保有制限の対象としました。当時の濱口雄幸内閣が調印を強行しましたが、軍部の強い反発を招きました。
問17	答え 軍備拡張	ナチスは、経済不況からの脱却策として「軍備拡張」を強行しました。兵器工場での生産や軍への徴兵を通じて失業者を解消しましたが、これは近隣諸国に対する大きな軍事的脅威となりました。当時の国際社会は協調よりも自国の安全や利益を優先するようになり、緊張状態が急激に高まりました。
問18	答え ドイツ	ドイツは領土拡大を強行し、1940年に日本、イタリアと日独伊三国同盟を結びました。これにより、民主主義を掲げる英米とは対立する枢軸国陣営が明確となりました。
問19	答え ワシントン会議	1921年から翌年にかけてアメリカのワシントンで開かれました。日・米・英・仏・伊などの主要国が参加し、主力艦の保有比率を制限することを決定しました。これにより軍備競争が一時的に抑制されました。
問20	答え ブロック経済	イギリスやフランスなどの植民地を多く持つ国々は、自国と植民地を関税の壁で囲い込み、その内部で貿易を優遇しました。このグループ以外の国々には高い関税を課すことで、経済圏を保護しました。これをブロック経済と呼びます。